

「学生と地域をつなげる絆づくり事業」の取り組み



# 学生の地域活動を応援しています！

昨年度の第19回全国ボランティアフェスティバルひろしまでは、分科会の企画・運営や、会場周辺案内マップの作成などに、県内の約40人の学生が関わりました。

フェスティバル終了後も、「今後も自分たちで何か活動ができれば」「フェスティバルを通してできた学生同士のつながりをこれからも残していきたい」という声が学生の中からあがりました。

Vハートひろしまでは、そうした学生の「活動を続けていきたい」という思いを応援していきこうと、今年度「学生と地域をつなげる絆づくり事業」をスタートさせました。

活動の企画・実施は、「学生の地域活動応援プロジェクト実行委員会」で行います。打合せ回数は、20回以上になり、回数を増すごとに協議も盛りあがってきています。

企画をすすめていく中で、学生は地域活動をしてみたいけれど、実際に活動している地域住民と関わる機会があまりないので、活動を始めるきっかけが少ないことが明らかになってきました。

そこで話し合いを重ねた結果、県内の学生が地域で活動をはじめのきっかけをつくり、地域住民や活動団体、そして活動を進めていくために学生同士が「つながる場」をつくることを目的に活動を企画・実施することにしました。

そしてこれが「ひろしま留学ツアー」の企画になりました！



～実行委員会の様子～

## 地域の人と一緒に話して！笑って！考えて！～ひろしま留学ツアー～

ひろしま留学ツアーでは、県内の専門学校生・短大生・大学生・大学院生に参加を呼びかけ、ツアーごとにだんだんと参加者数も増えています。

このツアーでは、地域のふれあいいきいきサロンに参加するコースや清掃活動を行うコースなどいくつかのコースに分かれ、地域住民との交流をとおり、その地域での日ごろの暮らしについて聴き、ちょっとした困りごとを地域住民と一緒に解決する活動などを行いました。

参加した学生は、地域住民と交流し、地域の魅力や課題を知るとともに、そこから「日頃自分たちができる活動」について考えました。グループワークでは、学生視点の意見がたくさん出され、学生にとっては地域活動を身近に感じる機会になり、また地域にとっては学生の元気やアイデアをもらうツアーとなりました。

### ＜ツアー実施状況＞

月/日	ツアー名	市 町
8/22～23	田舎に泊まろう!!	安芸太田町
9/7～8	まちをしゃべろう!!	三原市・尾道市
12/4	島へ行こう!!	江田島市



～地域の人と郷土料理を作り交流～



② まちをしゃべろう!!ツアー  
～坂の多い地域を住民と一緒に歩き  
ここでの暮らしについて知る～



～サロんでタペストリーを作成～



～学生から地域のみなさんへ  
お礼のメッセージ～



## ◆◆学生の自分たちができる活動とは??◆◆

- ・学生が得意なパソコンやインターネットを使い、地域の行事などを広報できないか
- ・学生が地域の人を取材し紹介する写真集をつくってはどうか
- ・サロンの運営を学生が手伝う
- ・空き店舗を使って地域の人が集まる場を学生で作れないか
- ・まずは友だちに声をかけ、地域のさまざまな活動のことを知ってもらう



～グループワークの様子～

## ツアーを通じてできた「つながり」

ツアーの実施に向けては、実行委員会の学生が実際に現地に出向き、協力いただく地域の人たちと事前に打合わせを行います。

地域との継続した関わりを通じて、地域関係者から「今度、地域の行事があるから協力してほしい」といったうれしい依頼もあり、ツアー企画をきっかけに学生と地域とのつながりが徐々に深まってきました。

今後も、ツアーなどの活動を通じ地域とのつながりを広げていきます。



「ツアー前の事前打合せ会の様子♪」



安芸太田町「第14回 楽市・楽座 五サー市」での活動

## ひろしま留学ツアーミニ報告会「学生が地域活動を始めるために」

ツアーで学生が体験し、感じたことを、これから活動を始めたいと思っている学生や地域活動者に伝える場として、ひろしま留学ツアーミニ報告会を開催しました。

この報告会には、Vハートひろしまの会員も参加し、意見交換を行い、今後学生と地域活動者が一緒に活動をすすめていく際のお互いの思いを共有できました。

- ・活動場所までの交通費の助成があればもっと参加しやすい
- ・移動手段がないとなかなか参加できない
- ・参加したいと思っても授業や試験がある時は難しい



- ・学生のアイデアで新しい風を入れてほしい
- ・一回限りではなく継続した活動につなげてほしい



## 学生の声×地域活動者の声



## 「地域と学生」「学生と学生」がつながるように

これらの取り組みを通して、学生は授業や試験、就職活動などで活動できる時間が限られていること、活動にかかる費用の負担や交通手段の問題などから継続した活動につなげていくことが難しいことがわかりました。また、企画等を進めるうえで、参加する学生をさらに増やしていくことや、大学等との連携のあり方について課題を残しました。

そうした課題を踏まえ、Vハートひろしまでは、今後さらに「地域と学生」「学生と学生」が「つながる場」が県内で広がるよう、これからも学生が参加しやすい環境を考え、学生が普段から地域活動にふれ、活動をはじめるときかけとなる場づくりや活動づくりを学生と一緒に進めます！